

1. 人口減少社会の中での児童館整備について
2. 児童の生活の場・遊び場の環境改善について

令和4年11月14日
子 供 未 来 局

検討内容

1. 人口減少社会の中での児童館整備について

- (1) 児童館の整備方針
- (2) 児童クラブサテライト室の整備方針
- (3) 計画的な改築・大規模修繕

2. 児童の生活の場・遊び場の環境改善について

- (1) 児童クラブ専用区画の見直し
- (2) 児童館・児童クラブの環境整備



中長期を見据えた基本的視点について

【視点1】人口減少社会に対応した施設計画

将来的な人口減少※や地域ニーズの変化、施設の老朽化に柔軟に適應していくことのできる施設マネジメントを行う。

※小学校区毎の年齢（各歳）別将来推計人口（仙台市まちづくり政策局政策企画課作成）によると、2057年には、小学校在籍児童数が現在の7割となる。

中長期を見据えた基本的視点について

【視点2】 児童が安全・安心に

健やかに育つことのできる環境整備

児童の生活の場・遊び場として安全・安心に健やかに育つことのできるより良い環境を計画的に整える。



1. (1) 児童館の整備方針 (①これまでの方針及び現状)

これまでの児童館整備方針

- 児童館については、小学校区単位を基本とし整備する。
- 整備にあたっては、小学校敷地の活用や市民センター等との併設により整備する。

児童館の数

- 112館（111学区） / 119学区
（国見小学校区は1学区に2館）

1. (1) 児童館の整備方針 (①これまでの方針及び現状)

児童館の設置場所・手法

・児童館の設置場所・手法

小学校内			小学校外	
小学校敷地内 または隣接	小学校合築	余裕教室活用 (マイスクール児童館)	単独館	併設館※
18館	7館	12館	35館	40館
37館			75館	

※市民センターやコミュニティ・センター



1. (1) 児童館の整備方針 (②課題)

課題 1. 未整備学区

- 111学区/119学区に児童館を設置しているが、下記8学区については、児童館が設置されていない。

• 児童館未整備学区一覧

学区	児童館等代替事業
生出	放課後子ども教室
上愛子	愛子児童館児童クラブサテライト室
秋保	湯元児童館への移動支援
馬場	
野村	民間児童クラブ
実沢(休校)	休校中であり、通学している学区の児童館を利用
福岡	
鶴が丘	隣接学区の児童館を利用・放課後子ども教室

1. (1) 児童館の整備方針 (②課題)

課題2. 地域ニーズへの対応

- 小学校児童数が今後、約35年で3割程度減少することが想定される。
- 今後、児童数の多い学区と少ない学区がより顕著となるなど、地域差が生じていく可能性がある。
- 児童数減少により小学校の統廃合が行われる可能性がある。

1.（1）児童館の整備方針（②課題）

課題3. 児童館の設置場所

- ・ 小学校から徒歩10分以上かかる児童館が9館ある。
- ・ 小学校から登館するにあたり、通行量の多い車道を横断する必要がある児童館がある。



1. (1) 児童館の整備方針 (②課題)

課題3. 児童館の設置場所

(参考) 高砂児童館の登館路



出典：Google マップ

・ 小学校からの児童館距離

児童館	距離・時間
高砂	1.8km(27分)
中山	1.6km(24分)
八木山南	1.2km(18分)
東部	900m(13分)
長町南	900m(13分)
幸町南	900m(13分)
原町	900m(13分)
吉成	800m(12分)
上杉	700m(11分)

※時間は1 km/15分で計算

1.（1）児童館の整備方針（③今後の方針案）

【方針1】小学校区単位の整備

●小学校区単位の整備を基本とする

本市児童館は、児童クラブ機能のほか、乳幼児親子など子育て家庭の支援機能、地域交流推進機能等を有している。

この児童館が小学校区毎に設置されていることが、本市の強みであり、今後も地域（小学校区）の子育て支援拠点施設としての役割を果たしていく。

●小学校の統廃合と合わせた児童館の統廃合

今後、児童数減少等により小学校が統廃合される場合は、併せて児童館の統廃合を検討する。



1.（1）児童館の整備方針（③今後の方針案）

【方針2】児童推計を踏まえた児童館整備

●中長期を見据えた児童館整備

中長期の学区内児童数推計を踏まえ、将来の児童数にあった規模の児童館を整備する。

【方針3】小学校改築に合わせた合築化

●安全・安心のため合築化の検討

小学校外に設置されている児童館については、児童の安全・安心の観点から、当該学区の小学校が改築される際には合築化を検討する。

1. (2) 児童クラブサテライト室の整備方針 (①これまでの方針及び現状)

これまでの整備方針

- 児童館本館で必要な面積が不足する場合は、児童クラブサテライト室を整備する。
- 小学校の余裕教室等の活用を基本としつつ、困難な場合は、民間賃貸物件や集会所等への整備を検討する。



1. (2) 児童クラブサテライト室の整備方針 (①これまでの方針及び現状)

サテライト室の設置場所及び利用状況

- ・サテライト室の設置場所（令和4年度当初：92か所）

小学校内			小学校外		
余裕教室	タイムシェア	プレハブ	民間賃貸物件	プレハブ	公共施設等
12か所	44か所	2か所	24か所	4か所	6か所
58か所			34か所		

- ・児童館及びサテライト室の利用状況（令和4年5月時点）

	児童館	サテライト室	合計
登録者数	9,430人	4,475人	13,905人
割合	68%	32%	100%



1.（2）児童クラブサテライト室の整備方針（②課題）

課題. サテライト室の設置場所

- ・ 約4割のサテライト室が小學校外に設置されている。
- ・ 小學校から徒歩10分以上かかるサテライト室が9か所ある。また、通行量の多い車道を横断する必要のあるサテライト室もある。
- ・ 小學校外にあるサテライト室は、校庭や体育館がないため、体を動かす場所がない。



1. (2) 児童クラブサテライト室の整備方針 (③今後の方針案)

【方針】 学校施設へのサテライト室設置

児童館本館で必要な面積が不足する場合は、学校施設の活用を基本に、児童クラブサテライト室を整備する。

- ・ 児童クラブを安全・安心に利用でき、可能な限り校庭や体育館を活用するなど、充実した活動を行えるようにする。
- ・ 将来、児童数が減少していく際には、登録児童の3割が利用しているサテライト室を減らすことで調整する。
そのため、転用をしやすい特別教室のタイムシェアによる活用などを中心としていく。



1. (3) 計画的な改築・大規模修繕 (①これまでの方針及び現状)

公共施設総合マネジメントプラン

本市では仙台市公共施設総合マネジメントプランに基づき「大切に長く使う」を基本方針に、建築後概ね20年毎に計画的に改修を行うこととしており、公共施設全体の老朽度や緊急度等を総合的に勘案し、大規模改修順の優先順位を決定している。

- ・ 築20年以上の児童館数及び大規模改修未実施館

	20年以上	30年以上	40年以上	合計
児童館数	28館	15館	7館	50館
内改修未実施	26館	5館	4館	35館

- ・ 児童館の大規模改修実施状況

	R1	R2	R3	R4	R5(予定)
改修実施館	3館	3館	3館	2館	4館



1. (3) 計画的な改築・大規模修繕 (②課題)

課題. 児童館の老朽化

- 50館が築20年以上であるが、うち35館が大規模改修工事を実施していない。
- 設備の故障や床・壁の劣化など、日常的な修繕については、児童の安全の観点などから優先順位をつけて、都度対応している。



1. (3) 計画的な改築・大規模修繕 (③今後の方針案)

【方針】計画的な改築・大規模修繕の実施

●大規模改修工事実施数の拡大

公共施設総合マネジメントプランに基づき、概ね20年毎に児童館の大規模改修工事を行えるよう、今後10年間で工事実施数を拡大していく。

●日常的な修繕への対応

児童の安全に関わるなど緊急的な修繕は早急に対応し、緊急性が低い修繕については計画的に対応していく。

2. (1) 児童クラブ専用区画の見直し (①これまでの方針及び現状)

児童クラブの専用区画

- 専用区画とは

児童クラブの児童が遊び及び生活の場として、専用に利用することとしている区画。

- 専用区画における児童1人あたりの面積基準

本市条例※により、児童1名あたり1.65m²以上

※「仙台市放課後児童健全育成事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」

- 支援の単位あたりの面積

本市では、概ね40人を1単位とし、単位あたり最低66m²（40人×1.65m²）の専用区画が必要。



2. (1) 児童クラブ専用区画の見直し (①これまでの方針及び現状)

児童クラブ専用区画への各居室面積の算入

- ・ 専用区画の面積に算入する割合

児童クラブ室：100%

集会室・図書室・遊戯室・創作活動室：60%（※1）

児童クラブサテライト室：80%（※2）

※1.児童館の児童クラブ室以外の居室については、自由来館者相当分を除いた算入割合としている。

※2.児童クラブサテライト室については、事務スペース及び静養スペース相当分を除いた算入割合としている。

2. (1) 児童クラブ専用区画の見直し (②課題)

課題 1 : 面積が狭い

- 児童館職員へのアンケートを行った結果、「感染症対策が十分にできない」「伸び伸びと遊ばせることができない」、「事故発生リスクが高い」という回答が多く、児童同士の距離の確保が課題となっている。
- 児童クラブ利用者が多い放課後の時間帯及び夏休み等の長期休業期間は、自由来館者が利用しづらい状況がある。

2. (1) 児童クラブ専用区画の見直し (②課題)

課題2：遊戯室の面積算入

- 国の通知※により、専用区画は体を動かす遊びや活動を行う場と区分する旨の技術的助言が発出されているが、現状、遊戯室の一部面積を専用区画に算入している。

※平成26年5月30日付雇児発0530第1号「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について」

- 遊戯室を居室として使用しているため、体を動かす遊びや、遊びの場としての自由来館を制限せざるを得ない状況がある。

2. (1) 児童クラブ専用区画の見直し (③今後の方針案)

【方針】 児童クラブ専用区画の見直し

●適切な児童1名あたりの面積基準

面積基準（ 1.65m^2 ）の拡大を検討していく。

●遊戯室の専用区画不算入

今後新たに整備する児童館については、遊戯室を専用区画に算入せず、遊戯室は体を動かす場所や自由来館で利用できる場所とする。

※上記の方針は、今後、新しく整備・改築する児童館又は児童クラブサテライト室から適用していく。

2. (2) 児童館・児童クラブの環境整備

【方針1】全居室へのエアコン設置

集会室、図書室、児童クラブ室等は概ね設置されているが、高天井の遊戯室を中心に令和4年4月1日現在、74館で一部未設置の部屋がある。

今後、大規模改修工事の機会も活かし、計画的に設置を行っていく。

【方針2】静養スペースの確保

児童館本館、サテライト室に静養スペースを設けることとしているが、登録児童数等の事情から、サテライト室を中心に、十分なスペースを確保できていない場合がある。

今後、実施箇所ごとに、空間を工夫して区切るなどの対応を含め、スペースの確保を図っていく。

2. (2) 児童館・児童クラブの環境整備

【方針3】防犯カメラの整備

令和4年4月1日現在、3館に防犯カメラを設置している。
今後、不審者等への対応のため必要な館に順次設置を進めていく。

【方針4】無線LAN環境の整備

小学校で導入したGIGAスクール端末での宿題に対応するため、今後、必要のある館より順次整備を進めていく。

【方針5】児童館遊具・備品の充実

児童の遊びや活動の充実のため、遊具・備品の購入、定期的な更新を行っていく。